

## 令和4年度事業報告

令和4年度一般財団法人狛江市文化振興事業団の施設利用、自主事業に関し、以下ご報告いたします。

令和4年度は、平成31年度から始まった第4期指定管理期間の4年目となりました。令和2年から続く、新型コロナウイルス感染症は完全に終息はせず、貸館事業においてもホール座席や楽屋等の利用後に消毒や換気作業等のお願いをしたうえでの貸出業務となりました。また、令和3年度9月1日から開始された大規模改修工事も10月31日で終了し、11月2日（水）にはホールのリニューアルオープンに先立ち事務室が仮事務所から戻り、12月11日（日）にホール等施設のリニューアルオープンとなりました。そのため、施設利用状況、稼働率につきましては、利用可能になった12月から3月までの数値になります。4年度の稼働率は、ホールが69.6%、展示多目的室が67.0%、リハーサル室が75.7%という結果となりました。エコルマホール大規模改修工事中は実施会場を他ホール等に移して実施していた個人・団体が戻ってきたことやリニューアルオープンによってエコルマホールを知り、初めて利用された団体もあったことからこのような数値となりました。ホールについては吹奏楽、管弦楽、フラダンス、バレエ等の発表の場としての利用が多く、特に3月は学校吹奏楽部の定期発表会での利用が多くみられました。展示多目的室では、展示販売、セミナー、懇親会等の利用があり、大規模改修工事前の利用から変わらず定期利用があり、リピート利用の安定化も維持しています。リハーサル室の単独利用では、舞踊、楽器、声楽の個人練習での利用が目立ち、これも新型コロナウイルス感染症の影響により集団での練習ができないことからの需要だと分析します。この個人練習での利用は稼働率アップへの明るい材料の一つであり、さらにホール利用へと繋がる重要なポイントだと考えます。未だ新型コロナウイルス感染症の完全な終息は見えませんが、リニューアルオープン後の新しくなったエコルマホールの宣伝等を強化し、新規利用者の開拓への方策を練っていきたいと考えます。

自主事業については、引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を行い、前年度から引き続き令和4年度も11月までの大規模改修工事期間中、市内西河原公民館を借りて4事業、工事終了後の12月以降は9事業10公演（共催3公演を含む）を実施しました。

主な事業の内容ですが、西河原公民館での公演は「エコルマほっとライブ@西河原公民館」として、過去のほっとライブで好評であった楽器、琵琶とオカリナを取り上げ、低料金チケットに設定し完売。また、9月からリニューアルオープンに向けた地域創造の助成による創造プログラム（「Re: Start～エコルマホール」）を企画し、西河原公民館で2公演、ホールリニューアル・オープン前のお披露目公演としたプレ・コンサートをエコルマホールで1公演実施しました。また、12月から3月にかけて、リニューアルオープン記念として、狛江出身の溝口肇によるコンサート、桐朋学園大学の企画協力によるピアノまつり、小曽根真トリオを実施、盛況に終えることができました。

また、改修工事前にホールステージ上やロビーで実施していたエコルマほっとライブですが、感染症対策として指定席として販売することとしたため、場所をホールに移し客席前部分110席のみを使用し、2公演実施しました。今回、初めて若手演奏家によるバロック音楽の企画を取り上げましたが、早々に完売となりました。

ホール改修工事後、コロナの影響もあり、お客様がどの程度、ホールに戻るか懸念されましたが、一部、年齢の高い顧客が戻りませんでした。概ね順調に集客ができました。

なお、コロナ禍での対策としてチケット発売初日のみ窓口販売を止め、電話予約とインターネット予約

対応にしましたが、予約の30%近くがインターネット予約（小曾根真トリオでは49%）であり、今後もインターネット予約者数を増やす努力を検討してまいります。

支援型事業に関してはコロナ禍のため実施を延期していた1団体が実施しました。

来年度以降は令和7年の開館30周年に向け、引き続き地域に根差す親しみのあるホールとして事業を展開して参ります。